

# 木野通信

発行所 京都精華短期大学  
京都市左京区岩倉 木野町137-1  
TEL (075) 791-6131  
編集人 野上 芳彦

「木野通信」解題 洛北、木野の里に新しく誕生した京都精華短期大学がある。深く山懐にいだかれ、山肌をけり、緑の寝床のような谷間に長く坂道をうらね、木縁に包まれた自然は美しい。今は名もなき木野の里だが、歳月を重ねるうちに、この自然も多くの変化を遂げて行くであろう。そこには未来への限りなく夢がくぐまされる。木野は昔から世に広く名を知られる岩倉にある。また土地の人にしか知られない名前だが、この名を大切に「木野通信」を世に送ろう。カットは本学美術科、吉富康夫講師にお願いをした。(野上)

## アンコール・ワットの秘宝 (原寸大複製)

### カンボジア元首より京都精華短大へ

このたび、カンボジア王国のシアヌーク元首より、アンコール・ワットのレリーフ(原寸大複製)が、深作光貞本学教授の手を通じて特に、京都精華短期大学に贈られ、十一月七日に、駐日カンボジア大使が出席してその除幕式が行なわれる。本学では、その日から本館玄関の壁に永久に飾るとともに、広く一般に公開されることになる。



カンボジアのアンコール遺跡は、東西五百米・南北三百米、石十一世紀間に次々とつくられた二段の回廊でピラミッド型に中央芸術的にも見事な遺跡群で、その尖が高く、各回廊の角々中央には、王都の中心寺院である、紡錘型の大祠堂塔がそびえて、パイヤン廟(巨大な建物)と林立して壮麗である。

## 解説

一八六一年のある日、フランスの博物学者アンリ・ムオはジャングルの中の探集の旅の途中、密林の上に煙気様のものにそびえ立つ巨大な石の殿堂を見出し、夢ではないかと目をこすった。彼は狂喜して近づこうとしたが、彼のつれていた現住民たちは、みんな目を伏せていた。この夢の殿堂は「死の殿堂」でもあり、これを見た者はかならず死にたるといわれる、という古い言い伝えがあった。果せるかな、このフランス人も、感動の手記をつづりつ、翌年に熱死した。七六〇米におよぶ壁の鏡石板の浮

彫であろう。本学に寄贈された浮彫原寸大複製は、その一部である。なおこのアンコール遺跡の全貌を本格的に始めて日本に紹介したのが、深作光貞教授である。

のたたりを帯びて、鎮魂の儀式をおこなっていたのだ。まさに、感嘆と恐怖の交錯した大ロマン、アンリ・ムオ以来このアンコール遺跡の強烈な魅力にとりつかれた人々は、世界中でどこを訪れても少年の風貌の類王様に魅惑され、戯曲「魔王のテラス」を書いた三島由紀夫ほか、作曲家、藤敏郎、思想家、梅原猛など数少くない。

しかし、日本人のアンコール・ワットとの結びつきは、最近ではないのだ。むしろこのころ、戦時時代から江戸初期にかけかなりの日本人が、兼子を派遣してつづらせたワットの絵図の写しが残されている。

とすると、一八六一年のフランス人の発見以前に、日本人たちは祇園精舎を踏襲していたにせよ、ワットの存在を知っていたわけだ。日本との関係においても、アンコール・ワットは、神秘的寺院、ワットの壁や石柱が、日本人の古い筆跡が、一〇〇いづつか発見された。とくに寛永九年(一六三二)に父母の供養におつれた九州の森本右近大夫のそれは、長文で二カ所に残っている。水戸の彰考館には、徳川家光が長崎の通譯(通訳)島野崎の現在、それは世界芸術の大きな流れのなかに確立した位置を占めているものだからである。

抗 議 声 明  
われわれはかねて大学運営臨時措置法案が大学の自治、ひいては学問・芸術の自由に対する国家権力の介入であるとして、これに反対してきた。

坂道  
長い 業期間 人間  
の一生の初期の一時期に限られていた。狩猟を覚える、農耕の方法を覚える、丁稚奉公をして商売のことを覚える。そして独立した生計をいとなむ人としていっただん働きはじめれば、後戻りして出なおすことはむずかかった。再修業するひまを生み出すことができなかったためだ。

## 大学選択心得帳

大学を遊ぶというよりは、学、そして偉い人がいっぱい出ているところか。二年あるいは四年の若き目を、その大学社会で過すことである。それが、不愉快、偉いんだ、と自分自身にいい聞な社会であったら、その何年かは灰色になる。

ある有名大学へ入るのに七年をかけた人がいる。三年、四年はざらだという。何故か。出世するたためである。灰色の七年、そして多分、寒々とした四年の大学生活。出世のために十年の青春を犠牲にしているものだろうか。

位かな、といった。数万人のなかのたった七〇人。それではを別にしろさるを得なかった。この大学社会は、盛り場の群集である。

位かな、といった。数万人のなかのたった七〇人。それではを別にしろさるを得なかった。この大学社会は、盛り場の群集である。

位かな、といった。数万人のなかのたった七〇人。それではを別にしろさるを得なかった。この大学社会は、盛り場の群集である。

位かな、といった。数万人のなかのたった七〇人。それではを別にしろさるを得なかった。この大学社会は、盛り場の群集である。

位かな、といった。数万人のなかのたった七〇人。それではを別にしろさるを得なかった。この大学社会は、盛り場の群集である。

位かな、といった。数万人のなかのたった七〇人。それではを別にしろさるを得なかった。この大学社会は、盛り場の群集である。

位かな、といった。数万人のなかのたった七〇人。それではを別にしろさるを得なかった。この大学社会は、盛り場の群集である。

## 尊ばれるべきもの

有名大学とは一体、何なの。ハッと驚くような立派な人に出だ。街角の煙草屋のおばさまと洗濯屋のおじさんが感心する大りかよって、判断がすっかりし

有名大学とは一体、何なの。ハッと驚くような立派な人に出だ。街角の煙草屋のおばさまと洗濯屋のおじさんが感心する大りかよって、判断がすっかりし

有名大学とは一体、何なの。ハッと驚くような立派な人に出だ。街角の煙草屋のおばさまと洗濯屋のおじさんが感心する大りかよって、判断がすっかりし

有名大学とは一体、何なの。ハッと驚くような立派な人に出だ。街角の煙草屋のおばさまと洗濯屋のおじさんが感心する大りかよって、判断がすっかりし

有名大学とは一体、何なの。ハッと驚くような立派な人に出だ。街角の煙草屋のおばさまと洗濯屋のおじさんが感心する大りかよって、判断がすっかりし

有名大学とは一体、何なの。ハッと驚くような立派な人に出だ。街角の煙草屋のおばさまと洗濯屋のおじさんが感心する大りかよって、判断がすっかりし

有名大学とは一体、何なの。ハッと驚くような立派な人に出だ。街角の煙草屋のおばさまと洗濯屋のおじさんが感心する大りかよって、判断がすっかりし

有名大学とは一体、何なの。ハッと驚くような立派な人に出だ。街角の煙草屋のおばさまと洗濯屋のおじさんが感心する大りかよって、判断がすっかりし

有名大学とは一体、何なの。ハッと驚くような立派な人に出だ。街角の煙草屋のおばさまと洗濯屋のおじさんが感心する大りかよって、判断がすっかりし

## 「大学法」に抗議

### 全学で討論集会・行動

大学紛争の嵐が、今日の形では開学以来、今、学生が提起している諸問題を自らの問題として把握し、全学的な討論・検討を重ねてきた。

先程、政府・自民党でまとめた「大学法」は、大学独自の努力を促すのではなく、むしろ阻害するものであるとして、この法案に反対するを公表した。

この時期に大学を創るといふのは、どういふことなのか。学生と共に考えて来二年、はや、第一回目の卒業生を送り出す時が近づいて来た。谷間を拓いてきた私達の学園の規模は小さいが、そこに育ちつづる学風は、他のどの大学にも類を見ないものと自負している。

この時期に大学を創るといふのは、どういふことなのか。学生と共に考えて来二年、はや、第一回目の卒業生を送り出す時が近づいて来た。谷間を拓いてきた私達の学園の規模は小さいが、そこに育ちつづる学風は、他のどの大学にも類を見ないものと自負している。

この時期に大学を創るといふのは、どういふことなのか。学生と共に考えて来二年、はや、第一回目の卒業生を送り出す時が近づいて来た。谷間を拓いてきた私達の学園の規模は小さいが、そこに育ちつづる学風は、他のどの大学にも類を見ないものと自負している。

この時期に大学を創るといふのは、どういふことなのか。学生と共に考えて来二年、はや、第一回目の卒業生を送り出す時が近づいて来た。谷間を拓いてきた私達の学園の規模は小さいが、そこに育ちつづる学風は、他のどの大学にも類を見ないものと自負している。

## 若い息吹を!

### 各地で入試説明会

この時期に大学を創るといふのは、どういふことなのか。学生と共に考えて来二年、はや、第一回目の卒業生を送り出す時が近づいて来た。谷間を拓いてきた私達の学園の規模は小さいが、そこに育ちつづる学風は、他のどの大学にも類を見ないものと自負している。

この時期に大学を創るといふのは、どういふことなのか。学生と共に考えて来二年、はや、第一回目の卒業生を送り出す時が近づいて来た。谷間を拓いてきた私達の学園の規模は小さいが、そこに育ちつづる学風は、他のどの大学にも類を見ないものと自負している。

この時期に大学を創るといふのは、どういふことなのか。学生と共に考えて来二年、はや、第一回目の卒業生を送り出す時が近づいて来た。谷間を拓いてきた私達の学園の規模は小さいが、そこに育ちつづる学風は、他のどの大学にも類を見ないものと自負している。

この時期に大学を創るといふのは、どういふことなのか。学生と共に考えて来二年、はや、第一回目の卒業生を送り出す時が近づいて来た。谷間を拓いてきた私達の学園の規模は小さいが、そこに育ちつづる学風は、他のどの大学にも類を見ないものと自負している。

この時期に大学を創るといふのは、どういふことなのか。学生と共に考えて来二年、はや、第一回目の卒業生を送り出す時が近づいて来た。谷間を拓いてきた私達の学園の規模は小さいが、そこに育ちつづる学風は、他のどの大学にも類を見ないものと自負している。

この時期に大学を創るといふのは、どういふことなのか。学生と共に考えて来二年、はや、第一回目の卒業生を送り出す時が近づいて来た。谷間を拓いてきた私達の学園の規模は小さいが、そこに育ちつづる学風は、他のどの大学にも類を見ないものと自負している。

## 専攻科を設置

この時期に大学を創るといふのは、どういふことなのか。学生と共に考えて来二年、はや、第一回目の卒業生を送り出す時が近づいて来た。谷間を拓いてきた私達の学園の規模は小さいが、そこに育ちつづる学風は、他のどの大学にも類を見ないものと自負している。

この時期に大学を創るといふのは、どういふことなのか。学生と共に考えて来二年、はや、第一回目の卒業生を送り出す時が近づいて来た。谷間を拓いてきた私達の学園の規模は小さいが、そこに育ちつづる学風は、他のどの大学にも類を見ないものと自負している。

この時期に大学を創るといふのは、どういふことなのか。学生と共に考えて来二年、はや、第一回目の卒業生を送り出す時が近づいて来た。谷間を拓いてきた私達の学園の規模は小さいが、そこに育ちつづる学風は、他のどの大学にも類を見ないものと自負している。

この時期に大学を創るといふのは、どういふことなのか。学生と共に考えて来二年、はや、第一回目の卒業生を送り出す時が近づいて来た。谷間を拓いてきた私達の学園の規模は小さいが、そこに育ちつづる学風は、他のどの大学にも類を見ないものと自負している。

この時期に大学を創るといふのは、どういふことなのか。学生と共に考えて来二年、はや、第一回目の卒業生を送り出す時が近づいて来た。谷間を拓いてきた私達の学園の規模は小さいが、そこに育ちつづる学風は、他のどの大学にも類を見ないものと自負している。

この時期に大学を創るといふのは、どういふことなのか。学生と共に考えて来二年、はや、第一回目の卒業生を送り出す時が近づいて来た。谷間を拓いてきた私達の学園の規模は小さいが、そこに育ちつづる学風は、他のどの大学にも類を見ないものと自負している。



この時期に大学を創るといふのは、どういふことなのか。学生と共に考えて来二年、はや、第一回目の卒業生を送り出す時が近づいて来た。谷間を拓いてきた私達の学園の規模は小さいが、そこに育ちつづる学風は、他のどの大学にも類を見ないものと自負している。

この時期に大学を創るといふのは、どういふことなのか。学生と共に考えて来二年、はや、第一回目の卒業生を送り出す時が近づいて来た。谷間を拓いてきた私達の学園の規模は小さいが、そこに育ちつづる学風は、他のどの大学にも類を見ないものと自負している。

この時期に大学を創るといふのは、どういふことなのか。学生と共に考えて来二年、はや、第一回目の卒業生を送り出す時が近づいて来た。谷間を拓いてきた私達の学園の規模は小さいが、そこに育ちつづる学風は、他のどの大学にも類を見ないものと自負している。



人間とは……
いま大学どう把えるか
「いま大学どう把えるか」の連載は、今年九月から始まりました。その間、多くの読者の御声援をいただき、誠にありがとうございます。今回は、大学の現状と今後の展望について、お話ししたいと思います。

人間とは…… (Continued)
「人間とは……」の連載は、今年九月から始まりました。その間、多くの読者の御声援をいただき、誠にありがとうございます。今回は、大学の現状と今後の展望について、お話ししたいと思います。

人間とは…… (Continued)
「人間とは……」の連載は、今年九月から始まりました。その間、多くの読者の御声援をいただき、誠にありがとうございます。今回は、大学の現状と今後の展望について、お話ししたいと思います。

人間とは…… (Continued)
「人間とは……」の連載は、今年九月から始まりました。その間、多くの読者の御声援をいただき、誠にありがとうございます。今回は、大学の現状と今後の展望について、お話ししたいと思います。

# 大学・解体のなかの創造

## 人間欠除のアカデミズムを告発する

大学は特権社会か
富田 大学は特権社会か。これは、みなさんがよく聞かれる質問です。大学は特権社会か、それとも、普通の社会か。大学は、社会の中心にあり、社会をリードする役割を果たしている。しかし、一方で、大学は特権社会である。大学は、高い学費を払って入学し、高いレベルの教育を受け、高い地位を得る。大学は、社会の中心にあり、社会をリードする役割を果たしている。しかし、一方で、大学は特権社会である。大学は、高い学費を払って入学し、高いレベルの教育を受け、高い地位を得る。

大学は必要か
青木 いまの大学は、自分の立場に合わせ、自分だけの道を歩いている。大学は、社会の中心にあり、社会をリードする役割を果たしている。しかし、一方で、大学は特権社会である。大学は、高い学費を払って入学し、高いレベルの教育を受け、高い地位を得る。大学は、社会の中心にあり、社会をリードする役割を果たしている。しかし、一方で、大学は特権社会である。大学は、高い学費を払って入学し、高いレベルの教育を受け、高い地位を得る。

学問の非人間化
岡崎 ミなな 学問の非人間化。学問は、人間の生活を豊かにし、社会を前進させる役割を果たしている。しかし、一方で、学問は非人間化している。学問は、人間の生活を豊かにし、社会を前進させる役割を果たしている。しかし、一方で、学問は非人間化している。学問は、人間の生活を豊かにし、社会を前進させる役割を果たしている。しかし、一方で、学問は非人間化している。

階層の問題
青木 大学の階層性。大学は、社会の中心にあり、社会をリードする役割を果たしている。しかし、一方で、大学は特権社会である。大学は、高い学費を払って入学し、高いレベルの教育を受け、高い地位を得る。大学は、社会の中心にあり、社会をリードする役割を果たしている。しかし、一方で、大学は特権社会である。大学は、高い学費を払って入学し、高いレベルの教育を受け、高い地位を得る。

美術科大学を経験して
デザイン二年 山本 匠
本大学の美術科の時間制は、午の11時から午後5時までは、自由に活動できる。これは、学生が自分の興味のある分野を追求できるという利点がある。また、授業は、実践的なものである。学生は、自分の作品を発表し、他の学生からの意見をもらう。これは、学生が自分の作品を客観的に評価できるという利点がある。

アッセンブリー
アワーの紹介
本大学の授業は、アッセンブリー形式で行われる。これは、学生が自分の意見を自由に発表できるという利点がある。また、授業は、実践的なものである。学生は、自分の作品を発表し、他の学生からの意見をもらう。これは、学生が自分の作品を客観的に評価できるという利点がある。

階層の問題 (Continued)
青木 大学の階層性。大学は、社会の中心にあり、社会をリードする役割を果たしている。しかし、一方で、大学は特権社会である。大学は、高い学費を払って入学し、高いレベルの教育を受け、高い地位を得る。大学は、社会の中心にあり、社会をリードする役割を果たしている。しかし、一方で、大学は特権社会である。大学は、高い学費を払って入学し、高いレベルの教育を受け、高い地位を得る。

就職便り
就職活動の状況。多くの学生が就職先を決めている。就職先は、大手企業や中小企業、公務員など多岐にわたる。就職活動は、学生にとって重要なステップである。就職先は、学生にとって重要なステップである。就職先は、学生にとって重要なステップである。

MONKEYS ON MT. HIEI

Edith Shiffert

They came hurrying across the mountain highway, the monkeys, and from the car window we had only three oranges to toss out insects to a hundred.

Each baby clung tightly to a mother's chest, joggled, upside down, as she ran toward us.

Neither sacred nor human, liking commercial foods, certainly thinly covered from cold by their fur, none deserts the tribe and the tribe does not leave its high ridge.

We keep remembering the brown eyes looking up into ours, unemotional but waiting.

Did they show what serenity might be, each face calm even while accepting that one would be the one to snatch a given bit of food although another almost had it?

Yesterday it snowed up thre on the red foliage and on the ancient huge enduring cedar trees. From the city we look up at the white ridges.

比叡山の猿たち

イディス・シファート

渡辺敏子訳(英語英文科二年)

猿たちが

山のハイウェイをいそいでやってきたので、私たちは百匹もの群れに、三つだけ持ってきたみかんを、こまかくわけて車の窓から投げてやった。

親猿の胸にしがみついた仔猿は、親猿がこちらへ来るときぶらぶらゆれていた。

猿たちは神のようでも、人間のようでもなく、市販の食糧を好み、うすい毛皮で寒さを防いでいる。どれも群れからぬけず、群れは高い屋根から去らない。

私たちを見上げていた感情のない、ものほしそうな茶色の目を覚えている。

彼らは落ちつきとは何であるかを示したのだろうか。ほかの猿がほとんど取りそうなのおしり、次に与えられる食物を自分がひったくるのだと知っている間さえ顔つきは冷やかだった。

昨日、山の紅葉に、大きな杉の古木に、雪がつもった。市中から、あの白い屋根を私たちは見上げる。

(E・シファート女史は本学英語英文科教授)



SHOW-8

麻田 脩 二

美術科助教 染織コース

中学の卒業がしたいに近づいてくるころだった。学院の小野牧師に招かれたわたしは、先生自身から先生自身の手紙を渡された。先生は、熱心にお手紙が来た。先生は、熱心にお手紙が来た。先生は、熱心にお手紙が来た。先生は、熱心にお手紙が来た。

随想

文学への道

宮本 正 清

わたしは文学を好み、早稲田大学で文学を専攻した。文学への道は、決して平坦な道ではなかった。文学への道は、決して平坦な道ではなかった。文学への道は、決して平坦な道ではなかった。

本学美術科のあり方

絵画二年 矢野 善章

「工藤くん、ぼくは昔から抱いてきた疑問があるが、あなたに聞いてみたいことがある。それは、あなた自身が美術科を志すに至った経緯について、もう少し詳しく聞きたい。あなた自身、どうして美術科を選んだのか、その理由を教えてください。」

編集後記

本誌の発行にあたって、多くの関係者からご協力いただきました。特に、美術科の先生方や、ご寄付をいただいた方々に、心より感謝申し上げます。

FOLK & ART logo with a stylized illustration of a person's face and various text elements including 'FOLK & ART' and 'ARTグループ性化'.